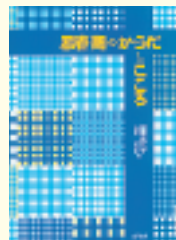




1358

HIVについて

京都市男女共同参画センター ウイングス京都からのお知らせ



自分自身を知る
思春期のからだ
こころ

○43/イ
岩瀬加代子・中村道彦 著
金子書房

自分を大切にできないと、
人を大切にすることは
理解できません。そして、自

分を大切にするには、自分のからだのことを正しく知る
必要があります。自分のからだところについて、性感
染症のことも含めて学べる一冊です。



多様な性を知る
多様なセクシュアリティと
ジェンダーの公正
個人・家族・性の
「やさしい地平」へ

○00/タ
田中弘子編著 明石書店

「男／女」だけではくれない、
さまざまな性について解説し

ています。そこから多様な性や生き方についての理解
を深めることにより、ジェンダーの視点からHIVや性感
染症などのさまざまな問題に向き合います。

●図書情報室のご案内

ウイングス京都図書情報室は、男女共同参画社会の実現を応援する図書室で、どなたでも気軽にご利用いただけます。

図書、雑誌、ビデオ、DVD、コミック、行政資料、ミニコミなどの資料の閲覧、貸出、リファレンスサービスなど、あなたの情報力をサポートします。絵本、児童書コーナーもあります。

※本を借りるには、住所・氏名を確認できるもの（運転免許証・健康保険証など）をカウンターにお持ちください。
利用者カードを発行します。（京都市内に在住、在勤、在学の方）

利用時間	平日 10:30～20:30 日・祝日 10:30～17:00 (水曜日、年末年始、特別整理期間は休室)
お問い合わせ	図書情報室 075-212-0606

●相談室のご案内

開室時間	平日 11:00～18:30 火曜日 11:00～20:00 ※受付は閉室の30分前まで
休室日	水曜日・日曜日・祝日・年末年始

- 女性のさまざまな悩みに関する電話相談・面接相談 ※予約制 専用電話 075-212-7830
- 女性への暴力相談 ※予約制
- 法律相談／第1・第3金曜日 13:30～16:00 ※予約制 (祝日の場合 第2・第4金曜日)
- 働く女性のこころの健康相談／第2・第4 火曜日 17:30～20:30 ※予約制
- 男性のための相談／第1・第4 火曜日 17:30～20:30 ※予約制

○男女共同参画に関する苦情等処理制度／「性別による人権侵害」「男女共同参画の推進に関する京都市の施策」についての苦情・相談を受け付けています。 専用電話 075-222-8124

京都市文化市民局
共同参画社会推進部男女共同参画推進課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
Tel.075-222-3091 Fax.075-222-3223
<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/danjo>

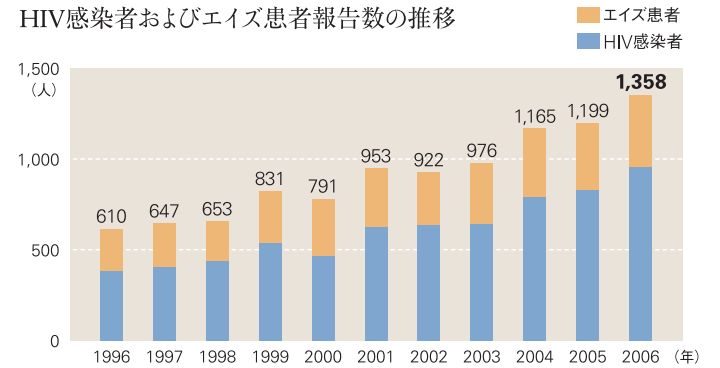
財団法人京都市女性協会 企画・編集

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262
Tel.075-212-7490 Fax.075-212-7460
<http://wings-kyoto.jp>





HIV感染者およびエイズ患者報告数の推移



HIVについて

平成18年のわが国のHIV感染者とエイズ患者の新規報告数は1,358件で、過去最高となりました（厚生労働省エイズ動向委員会『エイズ発生動向報告』より）。平均すると「1日あたり3・7人」！そのうち、異性間や同性間を含めた性的接触による感染が83・3%を占めています。特に若年層の感染者増加が指摘されています。

中高生の性行動は、大人たちが考えている以上に進んでいきます。警察庁の調べでも、携帯電話で「出会い系サイト」にアク

セスし、容易に性的関係を結ぶ中高生の事例が多く報告されています。そして、正しい知識や予防策を持たないまま、いつの間にかHIVやSTD（クラミジア・淋病・梅毒・性器ヘルペスほか性行為で感染する病気）に感染していったというケースが増えているのです。多くの若年層がHIVやSTDに関心を示しているようですが、「自分が感染しているかもしれない」と感じている割合は少なく、8割以上の若者が検査を受けたことがなく、また、3割程度が受診に抵抗を感じているという調査結果が出ています。

また、大人も含め、DV（ドメスティック・バイオレンス）など男性が女性に性行為を強要したり、女性から避妊を求めにくい場合もあり、予防しづらいために感染するリスクは女性の方が大きくなっています。

京都市では、エイズ対策として、エイズに関する知識の普及とHIV検査、相談・カウンセリング等に積極的に取り組んでいます。また、HIV検査は、保健所で、無料・匿名で受けることができます。昼間に検査を受けられない市民のニーズを踏まえ、夜間及び日曜の検査も実施しています。

きちんとした予防知識を持つと共に、男女がお互いの性を理解し、尊重する関係を築いていくことが、HIV等の予防にもつながります。女性だけでなく、社会全体が、安全な妊娠・出産や健全な子育てなど、生涯を通じての性と生殖についての意識を深めたいものです。